

2023年度

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会

議 案 書

日 時 2024年5月25日（土曜日） 13時30分

会 場 WEB開催（岩手医科大学附属内丸MC技師研修室から配信）

一般社団法人
岩手県臨床衛生検査技師会

2023年度定時総会次第

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
- 5 総会成立の確認
- 6 議事
 - 承認第1号 2023年度事業について
 - 承認第2号 2023年度決算について
 - 承認第3号 2023年度監査報告について
 - 第1号議案 2024年度事業計画(案)について
 - 第2号議案 2024年度予算(案)について
- 7 総会役員解任
- 8 議長解任
- 9 その他
- 10 閉会の辞

承認第1号

令和5年度事業 一般経過報告

令和5年度は新型コロナウイルスが5類となり対応が変わってきました。各施設でも手探り状態で対応してきたと思います。

岩臨技での各事業もやはり悩みつつ進めてきた感がありますが、予定された事業を滞りなく消化してきました。さらに学術部門での研修会の申請方法や生涯教育の登録等については方法の整備が進められています。

学術部事業では、北日本支部学会が福島県担当で現地開催となりました。情報交換会も行われ、コロナ前に開催されていた状況に戻りつつあると実感しました。

岩手県学会は北部地区技師会のご尽力により無事に開催することができました。オンデマンドのウェブ開催で一般演題は県内各地から11題集まり、教育講演I、II、特別講演の構成で行なわれ、97名の参加がありました。

今年度は日臨技北日本支部研修会も生物化学分析部門、生理機能検査部門、臨床一般部門で本県担当で行なわれています。

各部門の学術部事業の研修会も増加しつつあります。この中で日臨技の活性化事業費の対象となる研修会が16事業ありました。

精度管理報告会につきましては総合管理部門、微生物部門、病理細胞診部門、生理機能検査部門との合同研修会も行われました。

タスクシフト・シェア講習会は8月が岩手県立中央病院を会場とし、2月はアイーナで予定通り年2回の開催ができました。

公益事業では、安比リレーマラソンの参加は見送りましたが、学生への進路説明会としてタカヤアリーナで行われた「マイナビ進学ライブ2023(盛岡)」に岩臨技としてブースを出し、学生に対して検査技師という進路の説明を行っております。また、盛岡地区技師会のご尽力により「検査と健康展」がやはば一くにて昨年規模で開催できました。

会報発行事業は年度内に5回行われました。今年度からは印刷をせずに、ホームページに掲載されたタイミングで会員に一斉メールを使用しお知らせする事に変更しております。是非ホームページにアクセスしてみてください。

生涯教育研修部では各部門から申請のあった事業について学術部門と合同で日臨技生涯教育制度ガイドラインに沿って登録の可否を判断しています。また、ホームページには関係業者の方々が主催となる研修会等、日臨技への登録が出来ない事業でも掲載を進め自由度が高い運用としています。

事務局では、通常の実務業務をしながら、各部門や各地区と連携を取りながら技師会事務処理などの会務をスムーズ熟していただき施設や会員への案内等を滞りなく執行致しました。

最後になりますが、今年度も常務理事、各理事、学術部門長をはじめとする会員の皆様、関係各位の皆様のご理解、ご尽力、ご協力に感謝申し上げます。

事業報告

<総務部> 総務部長：佐々木 まゆみ

1、会員名簿について

理事会において個人情報の観点より発行しないこととした。

2、組織体制及び連絡網の整備について

ホームページには、委託先と連絡を重ねて改良しながら会員に必要な研修会等の情報を発信した。併せてサイボウズについても理事、地区会長、部門長などをメンバーとし、連絡ツールとして有効活用した。

3、研修会・会議用ツールについて

「zoom」ミーティングを活用し会議、研修会等に使用した。

4、会員の親睦について

今年度も、会員の親睦を深めるための企画を考えていたが、新型コロナの影響で実現できなかった。

5、総会議案書について

2024年度総会議案書はホームページへの掲載し、ダウンロードしていただくこととした。

<学術部> 学術部長：小野寺 奈緒

1、第26回医学検査学会

メインテーマ：業務支援（タスク・シフト/シェア）について考える
～求められる臨床検査、私達にできること～

会 期：令和5年12月1日～22日

開 催 地：Web開催（オンデマンド形式）

学 会 長：高橋 一博（岩手県臨床衛生検査技師会 会長）

実行委員長：熊谷 正邦（岩手県立軽米病院）

学会事務局：阿部 久子（岩手県立一戸病院）

教育講演Ⅰ：タスク・シフト/シェア参戦で知った検査前工程とチーム医療
講師 奥沢 悦子

八戸市立市民病院 救命救急センター副参事

（青森県臨床検査技師会 会長、日本臨床衛生検査技師会 執行理事）

教育講演Ⅱ：タスク・シフト/シェアについて

講師 荒木 秀夫

特定非営利活動法人臨床検査支援協会 講演会支援委員会 副委員長

特別講演：二戸市の歴史と民族

講師 関 豊

二戸市立二戸歴史民俗資料館 館長

一般演題：11題

主 催：（一社）岩手県臨床衛生検査技師会

担 当：北部地区技師会

参 加 者：97名

2、第29回岩臨技精度管理調査

実施期間：令和5年12月5日～15日

報告会：令和6年2月10日（現地：リリオ、Web：zoom）

実施委員長：千葉 拓也（岩手医科大学附属病院）

参 加 者：78名

3、各部門主催研修会

生理機能検査部門2回（メーカー共催）、病理・細胞診検査部門1回、血液検査部門1回、一般検査部門1回、感染制御部門2回、輸血・移植管理部門2回、総管理部門2回、学術部門合同研修会2回

計13回開催

4、北日本支部部門研修会（岩手県担当分）

令和5年度日臨技北日本支部生物化学分析部門研修会

日 時：令和5年9月30日～10月1日

会 場：エスポワール岩手

世話人：山本 将規（岩手県立大船渡病院）

令和5年度日臨技北日本支部臨床生理部門研修会

日 時：令和5年10月7日～10月8日

会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

世話人：館野 幸枝（岩手県立遠野病院）

令和5年度日臨技北日本支部臨床一般検査部門研修会

日 時：令和6年2月1日～2月28日

会 場：Web（オンデマンド配信）

世話人：畠山 和枝（岩手医科大学附属病院）

5、タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

岩手県 002

日 時：令和5年8月20日

会 場：岩手県立中央病院

実務責任者：千葉 寛（盛岡市立病院）

岩手県 003

日 時：令和6年2月18日

会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

実務責任者：小野寺 奈緒（岩手医科大学附属病院）

<各研究部門>

生物化学分析部門（部門長：山本将規）

1.研修会活動

①令和5年度 日臨技北日本支部研修会 生物化学分析部門研修会（担当：岩手県）

テーマ：「唯一無二の臨床検査技師を目指して ～キャリアアップ・スキルアップ～」

日時：令和5年9月30日（土）13：00～17：00

令和5年10月1日（日）9：00～12：00

会場：エスポワール岩手

内容：

メーカー講演1 「血液ガス分析の基礎」

講師 ラジオメーター株式会社 田村修 先生

メーカー講演2 「いまさら聞けない COVID-19 の基礎と検査」

講師：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 東田雄一 先生

教育講演1 「生化学免疫分野における業務効率化と人材育成」

講師：東北大学病院 診療技術部 検査部門 佐々木克幸 先生

「当院における生化学・免疫検査部門の業務改善と医療支援の効果」

講師：十和田市立中央病院 臨床検査科 前山宏太 先生

教育講演2 「精度管理と品質保証 -秋田赤十字病院の運用例と品質保証施設認証の取得-」

講師：秋田赤十字病院 検査部 齋藤裕之 先生

「病院移転後の精度管理の事例」

講師：岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 上田大輔 先生

教育講演3 「キャリアアップ～臨床検査技師を養成する立場へ～」

講師：北海道医療大学 医療技術学部 臨床検査学科 高橋祐輔 先生

「臨床検査技師はどこへ歩むか」

講師：一般財団法人 竹田健康財団 竹田綜合病院 臨床検査科

検体検査室 山本肇 先生

特別講演

第1部：「「パニック値」をめぐる諸問題と対応～最近の動向について～」

第2部：「唯一無二の臨床検査技師を目指す皆さんへのメッセージ」

講師：岩手医科大学医学部・臨床検査医学講座 諏訪部章 先生

参加者：日臨技会員 55 名＋賛助会員 15 名＋非会員 1 名

②令和 5 年度 岩臨技 学術部門合同研修会（第 1 部）

日時：令和 5 年 11 月 23 日（木）13:00 ～ 16:00

会場：Web 開催

内容：講演 「新人向けの基礎研修会（生化学・免疫、血液、一般、輸血）」

講師 各部門の部門長

参加者：49 名

③令和 5 年度（第 29 回）岩臨技精度管理調査報告会・学術部門合同研修会（第 2 部）

日時：令和 6 年 2 月 10 日（土）13:00 ～ 16:20

会場：リリオ 3F イベントホール＋Web 開催（Zoom 使用） ハイブリッド開催

内容：講演 1 精度管理調査報告会

講演 2 学術部門合同研修会（細菌検査、病理検査、生理機能検査）

講師 各部門の部門長、作山 美都恵（岩手医科大学附属病院）

参加者：79 名

2.精度管理調査

①臨床化学部門：試料 1、2 濃度・酵素項目・脂質項目を調査(計 27 項目)

試料 5、6 HbA1c を調査(評価対象外)

②免疫血清：試料 7、8 HCV 抗体、HBs 抗原の定性・定量を調査

遺伝子部門（部門長：三浦 采香）

1、研修会活動

開催なし

生理機能検査部門（部門長：館野 幸枝）

1、研修会

①第 1 回生理機能検査部門研修会（岩手県心エコーセミナー）

日時：令和 5 年 6 月 29 日（木）19:00～20:30

会場：Web 開催（Teams 利用）

内容：

1. 『大動脈弁狭窄症における弁膜症ガイドラインの改定と治療につながる心エコーについて』

高橋 敬太 先生（岩手医科大学 臨床検査医学講座）

2. 『AS 診断と術後 Follow up における Dr.出雲の心エコー道場』

出雲 昌樹（聖マリアンナ医科大学病院 循環器内科）

3. 『Live で学ぶ心エコーのコツ』

参加者：157 名

②（共催）ファイザー心エコースキルアップセミナー

日時：令和 5 年 7 月 7 日（土）19:00～20:00

会場：Web 開催（Teams 利用）

内容：「心アミロイドーシス早期発見への旅路」

杉本 邦彦 先生（藤田医科大学 臨床検査部超音波センター）

参加者：18 名

③令和 5 年度日臨技北日本支部臨床生理部門研修会

日時：令和 5 年 10 月 7 日（土）～8（日）

会場：ハイブリッド開催（いわて県民情報交流センター「アイーナ」501 号室 + Live 配信）

内容：

1. 「認知症への理解とその対応について」

- 岩手医科大学 内科学講座 脳神経内科・老年化分野 石塚 直樹 先生
2. 「心エコー検査～私の Tips～」 弘前大学医学部附属病院 検査部 武田 美香 先生
3. 「ペースメーカー心電図 検査室でどう対応していますか？」
～検査技師：私はこう読み取りました。 工学技士：実はこんな仕組みです。～」
- 地方独立行政法人市立秋田総合病院 臨床検査科 渡辺 智美 先生
- 地方独立行政法人市立秋田総合病院 臨床工学センター 渋谷 良平 先生
4. 「診療における聴覚検査と平衡機能検査の役割」
岩手医科大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科 池田 怜吉 先生
5. 「コロナ後遺症、ワクチン長期副反応患者の特徴と、生理検査上の注意点」
医療法人社団創友会 ヒラハタクリニック 平畑 光一 先生
6. 「血圧脈波検査の現状と展望」
東北大学病院 臨床検査部門 生理検査センター 三木 俊 先生
7. 「はじめよう！神経伝導検査～基礎から実践まで～」
岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 高橋 広大 先生

参加者：128名

2、精度管理調査

フォトサーベイ

心電図、心臓超音波検査、腹部超音波検査、脳波検査、呼吸機能検査について実施

参加施設 37 施設

心電図検査 37 施設、心臓超音波検査 30 施設、腹部超音波検査 26 施設、脳波検査 19 施設、呼吸機能検査 35 施設

病理・細胞診検査部門（部門長：肥田野 靖史）

1、研修会

① 第1回病理・細胞診検査部門研修会（現地開催）

【日時】令和5年8月26日（土）13:30～17:55

【会場】盛岡赤十字病院2階 会議室

【内容】:

1. 「消毒の基礎と日常業務における感染対策」
講師 岩手医科大学附属 中央検査部 成田 和也 技師
2. 「有機溶剤と特定化学物質の取り扱いと管理」
講師 岩手医科大学附属 病理診断科 肥田野 靖史 技師
3. 「当院における ISO に基づいたリスクアセスメント」
講師 岩手医科大学附属 病理診断科 高橋 静子 技師
4. 「当院における ISO に基づいた毒劇物の管理」
講師 岩手医科大学附属 病理診断科 上田 奈央子 技師
5. 「令和5年度病理認定検査士試験対策」
講師 岩手県立中央病院 検査技術科 佐藤 昂 技師
6. 「細胞検査士の研究環境について」
講師 岩手医科大学附属病院 病理診断科 山田 範幸 技師

2、精度管理調査 「HE 染色」

血液検査部門（部門長：染谷 俊裕）

1、研修会

令和5年度岩臨技第1回血液検査部門研修会

日時：令和5年11月15日（水） 18:00～19:00

会場：Web 開催（Zoom 使用）

内容：講演 凝固検査に影響を及ぼすこと

講師 株式会社 LSI メディエンス 神永 紗由里 氏

参加者：32名

令和5年度 岩臨技 学術部門合同研修会（第1部）

日時：令和5年11月23日（木）13:00～16:00

会場：Web開催（Zoom使用）

内容：講演 「新人向けの基礎研修会（生化学・免疫、血液、一般、輸血）」

講師 血液部門 血液検査のABC

参加者：49名

2、精度管理調査

血算部門：2濃度6項目（試料9、試料10）

形態部門：フォトサーベイ（細胞同定：設問1～12、病態判断：設問13）

一般検査部門（部門長：畠山 和枝）

1、研修会

① 第1回一般検査部門研修会（web開催）

日時：令和6年1月25日（木）18:00～19:00

会場：Web開催（Zoom開催）

内容：迷ったらどうする！？尿中赤血球形態の鑑別ポイント

講師 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 畠山 和枝 技師

参加者 14名

② 令和5年度日臨技北日本支部臨床一般部門研修会

日時：令和6年2月1日～28日

会場：Web（オンデマンド配信）

内容

講演1 症例から学ぶ尿沈渣—この鏡検像、報告はどうする！？

講師：阿部 紀恵

（八戸赤十字病院 医療技術部 検査技術課）

講演2 症例から学ぶ髄液検査—日当直中に提出されたらどうする！？

講師：山田 暁

（札幌医科大学附属病院 検査部）

講演4 尿定性検査、便潜血検査の精度管理はどうする！？

講師：大島 知樹

志賀 常雄

（栄研化学株式会社営業統括部販売推進室販売推進一部一課）

講演5 尿沈渣検査（鏡検法）の精度管理どうする！？【基礎編】

講師：横山 貴

（新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科 准教授）

講演6 尿沈渣検査（鏡検法）の精度管理どうする！？【実践編】

講師：石澤 毅士

（慶応義塾大学 臨床検査技術室 臨床検査科）

※講演3：能登地震災害支援活動のため講演取り下げ

参加者 390名

2、精度管理調査

フォトサーベイ実施（12設問）

尿定性検査（尿糖・尿蛋白・尿潜血）：評価対象外

感染制御部門（部門長：塩越 真由美）

1、研修会活動

① 第1回感染制御部門研修会 (web 開催)

【日時】 令和5年8月24日 (木) 18:00~19:00

【会場】 Web 開催 (Zoom)

【内容】:

1. CLSI ドキュメントの変更点について

講師 バックマンコールター株式会社 高相 道忠 氏

2. グラム陽性菌の同定検査について

講師 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 遠藤 謙太郎 技師

3. グラム陰性菌の同定検査について

講師 岩手県立中央病院 臨床検査科 塩越 真由美 技師

参加者 26名

② 第2回感染制御部門研修会

【日時】 令和6年1月20日 (土) 14:30~16:20

【会場】 いわて県民情報交流センター (アイーナ) 会議室 501B

【内容】

1. 岩手県立中部病院の AST 活動紹介

講師 岩手県立中部病院 診療支援部 臨床検査技術科 田原 龍稀 技師

2. 盛岡赤十字病院の AST 活動紹介

講師 盛岡赤十字病院 医療技術部 臨床検査課 武田 一成 技師

3. 抗菌薬の基礎知識

講師 岩手県立磐井病院 薬剤科次長 濱田 圭之輔 先生

参加者 18名

2、精度管理調査

フォトサーベイ 2題

同定検査 1題

同定、薬剤感受性検査 1題

輸血・移植管理部門(部門長：千葉 由紀)

1、研修会活動

1) 令和5年度岩臨技第1回移植検査部門研修会

【日時】 令和5年12月9日 (土) 10:00~12:00

【会場】 県立中央病院第1会議室

【内容】 「ABO/RhD 血液型をマスターしよう(初級者編)」

【参加者】 21名

2) 令和5年度岩臨技第2回移植検査部門研修会

【日時】 令和5年12月9日 (土) 14:00~17:00

【会場】 県立中央病院第1会議室

【内容】 「チャレンジ! ABO/RhD 血液型をマスターしよう(中級者または認定受験編)」

【参加者】 20名

2、令和5年度 岩臨技精度管理調査

配布試料：試料12、試料13

評価内容：ABO 及び RhD 血液型検査・不規則抗体スクリーニング検査
・不規則抗体同定検査

輸血フォトサーベイ：不規則抗体同定検査3題 (評価対象外)

総合管理部門(部門長：小野寺 奈緒)

1、研修会

- 1) 令和5年度 岩手県沿岸 DVT 検診
日 時：令和5年9月30日(日)
会 場：大槌町 安渡分館・避難ホール
内 容：DVT 検診
参加者：10名
- 2) 令和5年度 岩手県沿岸 DVT 検診
日 時：令和5年10月14日(土)
会 場：陸前高田市 陸前高田コミュニティーセンター
内 容：DVT 検診
参加者：9名
- 3) 令和5年度 学術部門合同研修会(第1部)
日 時：令和5年10月5日(水) 13:00~16:00
会 場：web 開催 (zoom)
内 容：「生化学・免疫検査 ～検体検査の注意点～」
講師 生物化学分析部門 山本 将規 部門長(岩手県立大船渡病院)
「血液検査のABC」
講師 血液検査部門 染谷 俊裕 部門長(岩手医科大学附属病院)
「一般検査のいろは」
講師 一般検査部門 畠山 和枝 部門長(岩手医科大学附属病院)
「血液型検査について」
講師 移植検査部門 千葉 由紀 部門長(岩手県立中央病院)
参加者：49名
- 4) 令和5年度(第29回)岩臨技精度管理調査報告会・学術部門合同研修会(第2部)
日 時：令和6年2月10日(土) 13:00~16:20
会 場：リリオ 3F イベントホール+Live 配信 (zoom)
内 容：① 精度管理調査報告会
② 学術部門合同研修会(第2部)
「微生物検査検体の取り扱いについて」
講師 感染制御部門 塩越 真由美 部門長(岩手県立中央病院)
「病理検体の取り扱い方」
講師 病理・細胞診検査部門 肥田野 靖史 部門長(岩手医科大学附属病院)
「きほんの基から学ぶ!12誘導心電図の基本手技」
講師 生理機能検査部門 作山 美都恵 技師(岩手医科大学附属病院)
参加者：78名

<公益事業部>公益事業部長：川村 将史

公益事業活動として、昨年度と同様に「検査と健康展」を新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意し、県民の皆さまに私たち臨床検査技師の仕事内容を周知する事に特化して開催した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより少しずつ以前の開催形式に戻していく必要があると考え、参加者との直接的な触れ合いは行わない内容ではあるが、新たに「AED体験」と「超音波検査体験」を行った。また、昨年同様臨床検査技師の業務紹介として「PCR検査」関連について模型やデモ機を用いてPRした。参加者数は前年度と同程度(162名)の多くの人に展示の見学や様々な検査体験していただくことができた。

ガン予防啓発事業「大腸がん予防啓発キャンペーン 2023」メディアを活用した「STOP!大腸がん」の企画を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の流行が継続したため、昨年度と同様に中止した。次年度は対面開催が可能な場合は例年通りの様々な企画を開催したい。

ガン予防啓発事業：中止

【大腸がん予防啓発キャンペーン 2023 メディアを活用した「STOP!大腸がん」】

開催日：令和5年度内

場 所：WEB、TV、ラジオ等のマスメディアを活用した臨床検査 PR

対象者：岩手県民

中止理由：新型コロナウイルス感染症に伴う臨床検査業務がひっ迫したため準備が困難であった。

学生に対する臨床検査技師の普及事業

【マイナビ進学ライブ 2023（盛岡）】

開催日：令和5年6月28日（水）13時00分～15時30分

場 所：盛岡タカヤアリーナ

対 象：高校生（参加者：高校1、2年生809名。臨床検査技師ブース来場者：31名）

活動内容：

「社会人アドバイザー（保育士、事務職、理学療法士、臨床検査技師の四職種）」として臨床検査技師を選択した経緯や仕事の経験を伝え、高校生が臨床検査技師になるという将来を考える上でのアドバイスをを行った。当日に臨床検査技師を説明した高校生は31名。将来臨床検査技師になりたい学生の2名に対しても説明した。参加者は真剣に話を聞いてくれた。参加したことで、学生の考えも聞くことができ、とても良い経験となった。次年度以降も企画された際には積極的に参加したい意向である。

参加校：

- ①共和学院水沢第一高等学校
- ②紫波総合高等学校
- ③江南義塾盛岡高等学校
- ④岩手女子高等学校
- ⑤盛岡中央高等学校
- ⑥花巻東高等学校

全国 検査と健康展：実施

【検査と健康展 in やはぱーく】

開催日：令和5年11月12日（日）

場 所：矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町）

担 当：岩臨技公益事業部、盛岡地区技師会

対象者：県民の方、臨床検査技師の仕事内容を知りたい方、学びたい方、
将来の職業として臨床検査技師に興味がある学生。

活動内容：

日臨技と岩臨技のそれぞれが主催の企画である「全国 検査と健康展」を新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながら、昨年同様の内容で開催した。当日は162名もの多くの県民に足を運んでいただいた。4年目のコロナ禍であったが5類移行に伴い、間接的ではあるが少しずつ参加者との「ふれあい」も大切にするべきと考えた。そこで、新たに「AED体験」と「超音波検査体験」を行った。継続して我々臨床検査技師の仕事であるPCR検査を県民に直接伝えることもできた。開催場所の「やはぱーく」は学生たちが勉強できるスペースも併設しているため、そこに勉強しに来ていた学生たちにも私たち臨床検査技師がやっていることについての説明を見ていただくことができた。

<生涯教育研修部>生涯教育研修担当：千葉 寛

- 1、2023年度における生涯教育活動並びに会員からの自己申告は、生涯教育研修部に届いているものに関しては、日臨技総合情報システム（JAMTIS）に登録済である。
- 2、生涯教育サイクルは5年間とし、基礎教科、専門教科をバランスよく受講し、合計200点以上で終了証書の発行を受けることが出来る。

【基礎教科（60点以上）＋専門教科（140点以上）＝200点以上】

- 3、2023年度の生涯教育活動一覧を表1に示す。日臨技研修会推進事業に16行事申請した（最大枠20行事）。開催された対象行事は21回、うち学会1回、研修会等20回でオンライン形式11、現地開

催 8、ハイブリット 1 であった。総会が開催されたが、会場参加は役員のためのハイブリット開催であった。

- 4、月別生涯教育行事開催数を表 2、教科別の開催状況を表 3・4 に示す。昨年より研修会数が 1 減であり、開催に至らなかった地区もあった。
- 5、今年度は、新型コロナの影響もあったが集会型の研修会も開催できた。WEB 開催は参加者にとって、何処にいても参加できるメリットはあるため、広報周知はホームページと定期的メール配信が主体となるが参加者の獲得に期待したい。
- 6、ホームページは、研修会の案内文書の配布機会の減少もあり、研修会などの行事案内は生涯教育研修部に依頼のあったものは全て掲載した。

表 1 生涯教育活動一覧

	開催日	行事名	主催等	参加者数	生涯点数		推進事業
					基礎	専門	
1	2023/05/18	令和 5 年度 盛岡地区技師会定期総会	総会	37	基礎	30	
2	2023/05/27	2023 年度 一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会 定時総会	総会	49	基礎	30	
3	2023/06/24	第 73 回 盛岡地区技師会研修会	臨床化学	85	専門	20	採用 1
4	2023/06/29	岩手県心エコーセミナー	生理	157	専門	20	採用 2
5	2023/07/07	心エコースキルアップセミナー	生理	21	専門	20	
6	2023/08/24	令和 5 年度 第 1 回感染制御部門研修会	微生物	26	専門	20	採用 3
7	2023/08/26	令和 5 年度第 1 回病理・細胞検査部門研修会	病理	21	専門	20	採用 4
8	2023/09/03	令和 5 年度岩手県沿岸 DVT 検診実務研修 (大槌町)	チーム医療	10	基礎	20	採用 5
9	2023/10/14	令和 5 年度岩手県沿岸 DVT 検診実務研修 (陸前高田市)	チーム医療	9	基礎	20	採用 6
10	2023/10/27	令和 5 年度第 1 回中部地区臨床検査技師会自主研修会	チーム医療	32	専門	20	採用 7
11	2023/11/12	岩手県 令和 5 年度 全国「検査と健康展」	公益事業	14	基礎	20	
12	2023/11/15	令和 5 年度岩臨技第 1 回血液検査研修会 (Web)	血液	32	専門	20	採用 8
13	2023/11/18	第 74 回盛岡地区技師会研修会	その他	63	専門	20	採用 9
14	2023/11/23	令和 5 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 (第 1 部)	教育	49	専門	20	採用 10
15	2023/12/1-22	第 25 回岩手県医学検査学会 (Web 開催)	岩臨技	74	専門	20	
16	2023/12/09	令和 5 年度岩臨技第 1 回移植検査部門研修会 初級者コース	輸血	21	専門	20	採用 11
17	2023/12/09	令和 5 年度岩臨技第 2 回移植検査部門研修会 中級者または認定受験予定者コース	輸血	20	専門	20	採用 12
18	2024/01/20	令和 5 年度 第 2 回感染制御部門研修会	微生物	18	専門	20	採用 13
19	2024/01/25	令和 5 年度第 1 回一般部門研修会	一般	14	専門	20	採用 14
20	2024/02/03	第 75 回 盛岡地区技師会研修会	生理	22	基礎	20	採用 15
21	2024/02/10	令和 5 年度(第 29 回)岩臨技精度管理調査報告会・学術部門合同研修会(第 2 部) 【ハイブリット方式】	管理運営	78	基礎	20	採用 16

表 2 年度別月別開催数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(回)
2019	1	4	3	4	1	2	5	4	5	2	2	0	33
2020	0	2	2	0	0	1	0	3	1	1	0	2	12
2021	0	2	0	0	2	0	2	4	1	0	4	1	16
2022	0	2	6	1	0	2	3	2	1	3	1	1	22
2023	0	2	2	1	2	1	2	4	3	2	2	0	21

表3 年度別教科点数別開催数

点数	2019	2020	2021	2022	2023
基礎教科 10点	0	0	0	0	0
基礎教科 20点	13	2	2	3	5
基礎教科 30点	1	4	1	2	2
専門教科 10点	0	0	0	0	0
専門教科 20点	18	6	12	17	14
専門教科 30点	1	0	1	0	0
合計(回)	33	12	16	22	21

表4 年度別教科別点数

教科	2019	2020	2021	2022	2023
基礎教科	290	160	70	120	160
専門教科	390	120	270	340	280
合計(点)	680	280	340	460	440

<精度管理部>精度管理部長：千葉 拓也

令和5年度(第29回)岩臨技精度管理調査

調査実施日：令和5年12月5日(火)

対象部門：臨床化学、免疫血清、微生物、血液検査、一般検査、生理検査、輸血検査、病理検査

回答方法：日臨技精度管理システム(JAMTQC)を介してのみ

報告会

日時：令和6年2月10日(土)

会場：ハイブリット(Web開催+リリオ)

<書記・会報部>書記・会報部長：藤倉 由規

1. 書記部門は、定期総会と岩手医科大学附属病院内丸メディカルセンターでの会議とWebでの会議録を作成しました。
2. 会報部門は、341号(4月)、342号(7月)、343号(9月)、344号(12月)、345号(1月)の5回で前年度より1回少ないWebでの発行になりました。会長、副会長はじめ、各理事の皆様、会員の皆様のご協力ありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

<地区技師会・事業報告>

北部地区技師会(北部地区会長 熊谷 正邦)

通常総会においては、新型コロナウイルス感染症が、まだ終息にいたっていない状況下の為昨年同様、会員に議案書を送付し書面にて議決権行使をお願いし、書面表決とした。

会員総数38名、回収率100%。

令和4年度事業報告・会計報告と令和5年度事業案・予算案・役員案については38名(3分の2以上で可決)を似て可決された。

第26回岩手県医学検査学会の開催担当地区として、前年度開催地区の盛岡地区役員の皆様の協力の元、前年度同様にWEB方式にて12月1日より3週間開催した。開催まで1ヶ月の時点で演題登録数3題・参加登録数は20~30名の厳しい状況であったが、県技師会役員・スタッフ様の全面的なご支援を受け、最終的に参加登録数90名と学会としてのかたちをとる事ができた。

研修会は、実施していない。

盛岡地区技師会(盛岡地区会長：川村 将史)

今年度の活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら総会(web開催)、役員会の開催、検査と健康展inやばーく、盛岡地区技師会研修会(計3回)を開催した。今年度の検査と健康

展は前年度に引き続いて盛岡地区が担当し、前年度と同一内容に加えて AED 体験、超音波検査体験を企画して開催した。参加者数は前年度と同程度（162 名）であった。研修会について、事業計画案通り年 3 回開催した。年度途中の 5 月 8 日から指定感染症であった新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類へ移行したことに伴い、現地開催の研修会も開催することができた。

令和 5 年度 第 1 回 役員会

日 時 : 令和 5 年 4 月 17 日 (月) 17 : 30 ~ 18 : 00
会 場 : web 開催
内 容 : 盛岡地区技師会総会について

令和 5 年度 盛岡地区技師会総会 (web 開催)

日 時 : 令和 5 年 5 月 18 日 (木) 18 : 30 ~ 19 : 00
会 場 : web 開催
参 加 : 35 名
委任状 : 197 名 (盛岡地区会員 270 名 過半数 136 名)

第 73 回 盛岡地区技師会研修会

日 時 : 令和 5 年 6 月 24 日 (土) 14 : 30 ~ 15 : 30
会 場 : web 開催
内 容 : 日当直に役立つ血液ガスデータの見方
講 師 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)
DX 事業本部 POC 営業本部
土橋 洋之 (ツチハシ ヒロユキ) 先生
参 加 : 85 名

検査と健康展 in やはぱーく (岩手県臨床衛生検査技師会、盛岡地区技師会共催)

日 時 : 令和 5 年 11 月 12 日 (日) 9 : 00 ~ 13 : 00
会 場 : 矢巾町活動交流センター やはぱーく (紫波郡矢巾町)
内 容 : 臨床検査技師紹介の展示、健康啓発パネルの展示、リーフレット配布、POCT 用遺伝子増幅検査機器の展示、新型コロナウイルスの検査法についてご紹介、PPE 着用体験、AED の操作説明・体験、超音波検査体験
参 加 : 162 名

令和 5 年度 第 2 回 役員会

日 時 : 令和 5 年 11 月 12 日 (日) 13 : 00 ~ 13 : 30
会 場 : 矢巾町活動交流センター やはぱーく (紫波郡矢巾町)
内 容 : 第 74・75 回盛岡地区技師会研修会について

第 74 回 盛岡地区技師会研修会

日 時 : 令和 5 年 11 月 18 日 (土) 14 : 30 ~ 15 : 10
会 場 : web 開催
内 容 : 『迅速検査キットの基礎』～イムノクロマト法の原理と非特異反応の要因について～
講 師 : デンカ (株) POCT 部 POCT 学術課長
村瀬 充範 (ムラセ ミツノリ) 先生
参 加 : 63 名

第 75 回 盛岡地区技師会研修会

日 時 : 令和 6 年 2 月 3 日 (土) 14 : 30 ~ 15 : 30
会 場 : 岩手県予防医学協会 Big Waffle 1 階会議室
内 容 : 「移乗について」
講 師 : 公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター
機能回復療法部 作業療法科長

大久保 訓 (オオクボ サトル) 先生
参 加 : 22 名

令和 5 年度 第 3 回 役員会

日 時 : 令和 6 年 2 月 3 日 (土) 16 : 00 ~ 16 : 45
会 場 : 岩手県予防医学協会 Big Waffle 1 階会議室
内 容 : 令和 6 年度活動案について

中部地区技師会 (中部地区会長 : 鈴木 知子)

令和 5 年度、定期総会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、会員 89 名に議案書を送付し、「議決権行使書 兼 委任状」による書面総会という形をとった。各議案については委任状の提出 (会員数 89 名、委任状回収率 100%、賛成 89 名) を以て可決した。

中部地区技師会主催の研修会はオンラインでの研修会を 1 回、現地集合での交流会を 1 回行った。

令和 5 年度 第 1 回研修会

日 時 : 令和 5 年 10 月 27 日 (金) 17:00 ~ 18:00
会 場 : オンライン開催
参 加 : 32 名
内 容 : 「標準採血法ガイドライン」と採血管取り扱いの注意点
講 師 : ニプロ株式会社 検査商品開発技術営業部 武田 祐貴 氏

令和 5 年度 中部地区技師会交流会

日 時 : 令和 5 年 1 月 27 日 (土) 10:00 ~ 11:30
会 場 : 北上市文化交流センターさくらホール 1 階大アトリエ
参 加 : 19 名
内 容 : コーヒーの美味しい入れ方
講 師 : 日本珈琲社 坂本 匠吾 氏

南部地区技師会 (南部地区会長 : 中沢 和浩)

令和 5 年度、活動実績はありません。
会員の皆様には、ご迷惑、ご心配をおかけしてしまい、大変申し訳ございません。
また各部門員の皆様には、ご活動いただきありがとうございます。
令和 6 年度に向けて体制を整えていきたいと思っております。

三陸地区技師会 (三陸地区会長 : 新沼 美穂子)

三陸地区総会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年同様、会員に議案書を送付し書面での議決権行使をお願いし、書面表決としました。会員数 42 名のところ、賛成 41、反対・保留 0 で、多数の議決権行使書提出ならびに賛成をもって可決されました。

また、研修会は Web にて、2 回開催することができました。ご協力いただきました地区会員の皆様、メーカー関係者の皆様に感謝いたします。

令和 5 年度三陸地区技師会 第 1 回研修会 (Web 研修会)

日 時 : 令和 5 年 11 月 28 日 (火) 18 : 30 ~
研修形式 : Microsoft® Teams を使用しての Web 研修会 (オンデマンド配信あり)
内 容 : 自動分析装置の原理と内部・外部精度管理
~内部精度管理で判明したトラブル事例紹介~
講 師 : 株式会社日立ハイテク 医用アプリケーション開発部 後藤 真由子氏
参 加 者 : リアルタイム 12 名、オンデマンド 20 名 (重複あり)

令和 5 年度三陸地区技師会 第 2 回研修会 (Web 研修会)

日 時 : 令和 6 年 2 月 26 日 (月) 15 : 00 ~

研修形式： Zoom にて Web 開催

内 容： 「新しい肝線維化診断法 ELF スコアへの期待」

講 師： シーメンスヘルスケア株式会社 LS 事業部アッセイグループ 福島 英晃氏

参加者： 25 名

2023 年度収支計算書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	11,500	10,000	1,500	
入会金収入	11,500	10,000	1,500	500 円×20 名
② 会費収入	4,740,000	4,580,000	160,000	
正会員会費収入	4,060,000	3,920,000	140,000	7,000 円×560 名
賛助会員会費収入	680,000	660,000	20,000	20,000 円×33 社
③ 事業収入	330,000	634,000	△ 304,000	
事業収入	330,000	634,000	△ 304,000	精度管理収入、県 学会参加費、広告 費
④ 補助金等収入	1,110,000	1,208,800	△ 98,800	
研修会費収入	10,000	1,000	9,000	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,207,800	△ 107,800	日臨技助成金、検 査と健康展助成金
⑤ 雑収入	500	125	375	
受取利息収入	500	125	375	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	6,192,000	6,432,925	△ 240,925	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	3,950,000	2,984,072	965,928	
ア 啓蒙活動支出	700,000	552,929	147,071	
給料手当支出	100,000	26,000	74,000	スタッフ日当
報償費支出	100,000	41,730	58,270	スタッフ弁当
旅費交通費支出	110,000	14,500	95,500	スタッフ交通費
通信運搬費支出	10,000	0	10,000	発送費、切手代

	消耗品費支出	120,000	388,681	△ 268,681	ボールペン、マウスピース
	印刷製本費支出	10,000	4,213	5,787	検査と健康展チラシ印刷
	賃借料支出	100,000	72,300	27,700	会場費、トランクルーム
	諸謝金支出	100,000	0	100,000	
	雑支出	50,000	5,505	44,495	健康展備品
イ	学会活動支出	1,100,000	1,102,493	△ 2,493	
	給料手当支出	20,000	98,500	△ 78,500	スタッフ日当
	報償費支出	70,000	4,039	65,961	
	旅費交通費支出	80,000	13,160	66,840	スタッフ交通費
	通信運搬費支出	10,000	7,370	2,630	発送費、切手代
	消耗品費支出	10,000	3,017	6,983	文具等
	印刷製本費支出	300,000	0	300,000	岩手医学検査
	賃借料支出	180,000	0	180,000	会場費
	諸謝金支出	100,000	64,500	35,500	講師謝礼
	雑支出	30,000	5,499	24,501	
	委託費	300,000	906,408	△ 606,408	ヤマダプランニング
ウ	研修会活動支出	900,000	556,059	343,941	
	給料手当支出	120,000	125,000	△ 5,000	スタッフ日当
	報償費支出	80,000	52,824	27,176	講師飲料代
	旅費交通費支出	150,000	54,320	95,680	講師交通費、宿泊費
	通信運搬費支出	95,000	74,568	20,432	発送費、切手代
	消耗品費支出	30,000	50,359	△ 20,359	
	印刷製本費支出	10,000	0	10,000	資料作製費
	賃借料支出	110,000	51,768	58,232	会場費
	諸謝金支出	300,000	139,882	160,118	講師謝礼
	雑支出	5,000	7,338	△ 2,338	リモート用機材
エ	会報事業支出	500,000	30,492	469,508	
	通信運搬費支出	135,000	30,492	104,508	発送費、切手代
	消耗品費支出	5,000	0	5,000	
	印刷製本費支出	350,000	0	350,000	印刷費
	雑支出	10,000	0	10,000	振込手数料
オ	精度管理事業支出	750,000	742,099	7,901	
	通信運搬費支出	70,000	54,086	15,914	切手代等
	消耗品費支出	500,000	489,473	10,527	器材費等
	委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム使用料

諸謝金支出	0	32,000	△ 32,000	サーベイ試料作製謝礼
雑支出	70,000	56,540	13,460	宅配費用等

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
②管理費支出	2,242,000	2,536,164	△ 294,164	
役員報酬支出	80,000	65,000	15,000	理事日当(@500円)
給料手当支出	150,000	547,000	△ 397,000	手当、税理士報酬
報償費支出	100,000	107,482	△ 7,482	総会費、監査経費
会議費支出	20,000	0	20,000	会場費
旅費交通費支出	250,000	211,460	38,540	理事会交通費、日臨 技交通費
通信運搬費支出	800,000	646,237	153,763	電話、インターネット、 議案書発送費
消耗品費支出	10,000	128,194	△ 118,194	封筒、コピー用紙等
印刷製本費支出	300,000	101,459	198,541	議案書印刷費、コピ ー機使用料、名簿印 刷費
賃借料支出	350,000	218,022	131,978	トランクルーム、コピー 機リース、パソコンリー ス
諸謝金支出	10,000	12,507	△ 2,507	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	30,000	289,740	△ 259,740	レンタルサーバー使 用料、HP 管理料金
慶弔費	10,000	42,000	△ 32,000	弔電
雑支出	60,000	95,063	△ 35,063	振込手数料等、法人 登記費用。日報広告 費
事業活動支出計	6,192,000	5,520,236		
事業活動収支差額	0	912,689	△ 912,689	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0		
投資活動収入計		0		
2. 投資活動支出		0		
投資活動支出計		0		
投資活動収支差額		0		
II 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入		0		
財務活動収入計		0		

2. 財務活動支出		0	
財務活動支出計		0	
財務活動収支差額		0	
II 予備費収支の部			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	912,689	
前期繰越収支差額	0	9,586,833	
次期繰越収支差額	0	10,499,522	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、及び前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	443,739	412,402
普通預金	8,560,478	8,404,470
定期預金	2,000,817	2,000,851
県学会前渡金	0	1,100,000
北日本学会前渡金	0	0
合計	11,005,034	11,917,723
前受金	0	0
合計	0	0
次期繰越収支差額	11,005,034	11,917,723

財産目録

(2024年3月31日現在)

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	現金手許有高	412,402	
普通預金	岩手銀行県庁支店 No. 121140	8,404,470	
定期預金	岩手銀行本町支店 No.96689	2,000,851	
県学会前渡金		1,100,000	
北日本学会前渡金		0	
流動資産合計			11,917,723
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計		0	
(2) 特定資産			
特定資産合計		0	
(3) その他固定資産			
什器備品		133,628	
その他固定資産合計		133,628	
固定資産合計			133,628
資産合計			12,051,351
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金			
流動負債合計			0
負債合計			0
正味財産			12,051,351

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,817,723	11,005,034	△ 187,311
県学会前渡金	1,100,000		
北日本学会前渡金	0		
流動資産合計	11,917,723	11,005,034	912,689
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	133,628	133,628	0
その他固定資産合計	133,628	133,628	0
固定資産合計	133,628	133,628	0
資産合計	12,051,351	11,138,662	912,689
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	12,051,351	11,138,662	912,689
正味財産合計	12,051,351	11,138,662	912,689
負債及び正味財産合計	12,051,351	11,138,662	912,689

正味財産増減計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金	10,000	12,000	△ 2,000
受取入会金	10,000	12,000	△ 2,000
② 受取会費	4,580,000	4,771,000	△ 191,000
正会員受取会費	3,920,000	4,011,000	△ 91,000
賛助会員受取会費	660,000	760,000	△ 100,000
③ 事業収益	634,000	615,000	19,000
事業収益	634,000	615,000	19,000
④ 受取補助金等	1,208,800	1,218,370	△ 9,570
受取研修会費	1,000	0	1,000
受取助成金	1,207,800	1,218,370	△ 10,570
⑤ 雑収益	125	111	14
受取利息	125	111	14
雑収益	0	0	0
経常収益計	6,432,925	6,616,481	△ 183,556

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費			
ア 啓蒙活動	552,929	547,223	5,706
給与手当	26,000	18,000	8,000
報償費	41,730	25,560	16,170
旅費交通費	14,500	10,500	4,000
通信運搬費	0	0	0
消耗品費	388,681	417,087	△ 28,406
印刷製本費	4,213	4,983	△ 770
賃借料	72,300	68,700	3,600
諸謝金	0	0	0
雑費	5,505	2,393	3,112
イ 学会活動	1,102,493	1,008,314	94,179
給与手当	98,500	86,000	12,500
報償費	4,039	0	4,039
旅費交通費	13,160	16,000	△ 2,840
通信運搬費	7,370	37,752	△ 30,382
消耗品費	3,017	0	3,017
印刷製本費	0	0	0
賃借料	0	0	0
諸謝金	64,500	101,048	△ 36,548
雑費	5,499	21,691	△ 16,192
委託費	906,408	745,823	160,585
ウ 研修会活動	556,059	459,663	96,396

給与手当	125,000	84,000	41,000
報償費	52,824	17,543	35,281
旅費交通費	54,320	50,020	4,300
通信運搬費	74,568	66,112	8,456
消耗品費	50,359	41,259	9,100
印刷製本費	0	0	0
賃借料	51,768	0	51,768
諸謝金	139,882	144,685	△ 4,803
雑費	7,338	56,044	△ 48,706
エ 会報事業	30,492	322,142	△ 291,650
通信運搬費	30,492	82,562	△ 52,070
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	239,580	
雑支出	0	0	0
オ 精度管理事業	742,099	729,135	12,964
通信運搬費	54,086	62,040	△ 7,954
消耗品費	489,473	501,055	△ 11,582
委託費	110,000	110,000	0
諸謝金出	32,000	0	32,000
雑費	56,540	56,040	500
事業費計	2,984,072	3,066,477	△ 82,405

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費			
役員報酬	65,000	48,500	16,500
給料手当	547,000	148,000	399,000
報償費	107,482	84,018	23,464
会議費	0	0	0
旅費交通費	211,460	220,330	△ 8,870
通信運搬費	646,237	804,347	△ 158,110
消耗品費	128,194	1,815	126,379
印刷製本費	101,459	280,509	△ 179,050
賃借料	218,022	335,400	△ 117,378
諸謝金	12,507	0	12,507
租税公課	72,000	72,000	0
委託費	289,740	25,740	264,000
慶弔費	42,000	70,050	△ 28,050
雑支出	95,063	41,094	53,969
管理費計	2,536,164	2,131,803	404,361
経常費用計	2,536,164	2,131,803	404,361
	5,520,236	5,198,280	321,956
当期経常増減額	912,689	1,418,201	△ 505,512
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計			
(2)経常外費用	0	0	
経常外費用計			
	0	0	

	当期経常外増減額	0	0	
	当期一般正味財産増減額	912,689	1,418,201	△ 505,512
	一般正味財産期首残高	11,138,662	9,720,461	1,418,201
	一般正味財産期末残高	12,051,351	11,138,662	912,689
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0		
	指定正味財産期首残高	0		
	指定正味財産期末残高	0		
III	正味財産期末残高			
		12,051,351	11,138,662	912,689

承認第3号

令和5年度監査報告書

令和6年4月24日

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会長 高橋 一博 様

監事 菊池 英岳



榎 久美



一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会定款第4章28条の規定により、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の監査を令和6年4月24日岩手医科大学附属病院に於いて実施したので下記の通り報告する。

記

会務について

コロナ禍で活動が制限されるなかであったが令和5年度事業計画に基づき、学術事業はWEB開催などを活用し円滑に遂行されていることを認める。また公益、渉外活動においても同様に活動が遂行されていることを認める。

財務について

令和5年度予算に基づき適切に運用されていた。また、諸帳簿、書類、領収書、収支伝票等は適切に処理され保管されていることを認める。

地区活動費の利用率が半分に満たず約60%が返却されています。地区によってバラつきがあり会員数に応じた見直しが必要と思われる。経費削減として会報のネット掲載や、ネット銀行利用による手数料の削減など、数字として表れているので一層の活用を期待します。

要望事項

- ・ 公益事業の「検査と健康展」や「あっぱりレマラソン」等を通して、がん征圧や検査技師活動について広く県民に啓蒙できる事を望む。今後も関係団体や関係機関と協働し、公益事業を展開しながら地域医療に貢献すること。
- ・ 生涯教育研修制度を通じ、会員の知識や技術水準の維持向上に努めることを望む。

第 1 号議案

令和 6 年度の事業計画を提案します

執行部・学術部・総務部・三陸地区技師会・盛岡地区技師会実行委員会

- ① 第 27 回岩手県医学検査学会 令和 6 年 10 月 19 日 アイーナ小田島組ホール
- ② 岩臨技設立 70 周年・法人化 35 周年記念式典 同日 アイーナ小田島組ホール
- ③ 岩臨技設立 70 周年・法人化 35 周年記念祝賀会 同日 ホテルニューカーリーナ

記念誌発行実行委員会

- ④ 岩臨技設立 70 周年・法人化 35 周年記念誌発行 12 月頃を予定

学術部門・生涯教育研修部門

- ⑤ 各研究部門学術研修会
- ⑥ 部門研修会申請フローの見直し

公益事業部門

- ⑦ マイナビ進学ライブ 2024（盛岡）
- ⑧ 大腸がん予防啓発キャンペーン あっぴりレーマラソン 2024「STOP!大腸がん」（仮）
- ⑨ 検査と健康展 in 盛岡地区

精度管理部

- ⑩ 令和 6 年度（第 29 回）岩臨技精度管理調査

書記・会報部

- ⑪ 会報発行事業、年 6 回を予定

総務部

- ⑫ ホームページ更新・管理

事務局

- ⑬ 事務局移転準備

執行部

- ⑭ タスクシフト/シェア講習会の実施
- ⑮ 施設代表者連絡メールの確認・整備
- ⑯ 自治体との災害対応協定の準備

事業計画（案）

<総務部>

1、組織体制及び連絡網について

今年度も、ホームページを活用し、会員にとって必要な研修会等の情報を発信していきたい。

また、サイボウズについても理事、地区会長、部門長などをメンバーとし、連絡ツールとして有効活用していきたい。

2、研修会・会議用ツールについて

岩臨技で契約中の zoom ミーティングを使用し、会議、研修会等に使用していきたい。

また、zoom ミーティングのような情報ツールを、情勢を見ながらより良いものを模索し取り入れていきたい。

100 アカウントを超えることが予想される研修会等を見越し、500 アカウントで契約したい。

3、会員の親睦について

新型コロナなど感染症の動向を見ながら会員の要望に応えられるような企画を立案していきたい。

4、事務局について

昨年度に引き続き、今年度も岩臨技事務局を現在の岩手医科大学附属内丸メディカルセンター中央臨床検査部内から、移転させるための手続きをしていきたい。

5、2024 年岩臨技 70 周年式典+法人化 35 周年について

岩臨技 70 周年式典+法人化 35 周年の式典は、第 27 回岩手県医学検査学会と同日に行うよう計画したい。

また、前回 50 周年に発行した記念誌発行について、発行時期は 12 月を目処に、記念誌編集委員を組織し取り組む方向でいきたい。

<学術部>

1、岩手県学会の開催

今年度は創立 70 周年および法人化 35 周年を迎えることから、記念式典との合同開催を予定している。学会の担当地区は三陸地区であるが、いわて県民情報交流センター（アイーナ）での現地開催とし、岩臨技理事や盛岡地区のサポートメンバーも実行委員となり、三陸地区と合同で企画・運営を行う。

2、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

ホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し、基礎講習および実技講習の受講を呼びかけていく。

実技講習会は今年度も 2 回の開催を予定している（次回：令和 6 年 6 月 16 日開催予定）。

3、臨地実習指導者講習会

引き続きホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し呼びかけを行う。

4、岩臨技精度管理調査の実施

例年通り 12 月上旬を予定。報告会は 2 月を予定。

5、各部門主催研修会の開催

今年度は学術部門全体で年度計画を立てて活動し、合同研修会や実技講習会を充実させていく。昨年度と同様に新人向け研修会を引き続き開催する。

次世代の学術部門を担う人材の育成も視野に入れ、講師育成の場として研修会を活用していく。

開催案内はホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し、会員に周知する。

<各研究部門>

生物化学分析部門

1. 研修会

- ・年内 2 回程開催予定
- ・岩臨技 学術部門合同研修会予定

2. 精度管理調査

- ・臨床化学部門：試料 1、2 濃度・酵素項目・脂質項目を調査(計 27 項目)

- 試料 5、6 HbA1c を調査(検討中)
・免疫血清 : 試料 7、8 HCV 抗体、HBs 抗原の定性・定量を調査。

遺伝子検査部門

1. 研修会

- ・年度内に企画予定
- ・令和 6 年度日臨技北日本支部研修会「染色体・遺伝子部門」 日程・開催方式等企画検討中

生理機能検査部門

1. 研修会

年度内に 2～3 回程度の研修会を開催予定である。

2. 精度管理調査

フォトサーベイを予定

病理・細胞診部門

1. 研修会

- ・「2024 年 4 月施行」労働安全衛生法に関する勉強会
日時：令和 6 年 4 月 20 日（土） 13：00～14：00
場所：盛岡赤十字病院 2 階 会議室
- ・令和 6 年度岩臨技第 1 回病理・細胞検査部門研修会
日時：令和 6 年 8 月 24 日（土） 14：00～ 開催予定
場所：盛岡赤十字病院 2 階 会議室

2. 精度管理調査

特殊染色を予定

血液検査部門

1. 研修会の開催

年度内に 3～4 回程度研修会を開催予定である。
研修会内容に関するアンケートを実施し、今後の研修会を検討する。
現地開催として顕微鏡を使用した研修会を企画予定である。

2. 精度管理調査（血算・フォトサーベイ）

凝固のサーベイの実施を検討したい。
日臨技北日本支部として凝固のパニック値に関する大規模アンケート調査を検討中。

一般検査部門

1. 研修会

年度内 2～3 回研修会を開催予定

2. 精度管理調査

尿定性検査、フォトサーベイを予定

感染制御部門

1. 研修会

年度内に 2 回程度の研修会開催を予定している。

2. 精度管理調査

フォトサーベイと同定、薬剤感受性検査を予定している。

輸血・移植部門

1. 研修会活動

年 2 回程度開催予定である。内容は輸血検査・輸血療法全般に関することを中心に企画予定である。
また、今年度も実技研修会について検討したい。

2. 岩臨技精度管理調査

送付試料：2種類

フォトサーベイ：3題（予定）

3. その他

研修会及び精度管理調査に使用する試料の準備について、「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づき、日本赤十字社血液事業本部へ公募申請済み。

総合管理部門

1、研修会の開催

昨年度と同様に各部門と連携し、新人向けの研修会や領域横断した内容の研修会を開催予定。

<公益事業部>

公益事業部>

公益事業活動は「学生に対する臨床検査技師の普及事業」、「がん予防啓発キャンペーン」と「全国 検査と健康展」の3事業を計画している。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類移行から1年経過し、状況を見ながらにはなるが、コロナ禍以前の「事業活動に戻していく準備の年とする」意向である。様々な感染症に対する感染防止対策を行いながら、県民の皆さまに臨床検査技師を周知していただく活動や、(一社)岩臨技会員の一人一人の心と体の健康も大切にできる取り組みを適切に状況判断をして開催したい。

<学生に対する臨床検査技師の普及事業>

【マイナビ進学ライブ 2024（盛岡）】

開催日：令和6年6月20日（木）13時00分～16時00分（予定）

場 所：盛岡タカヤアリーナ

対 象：高校生（2023年実績 809名）

活動内容：

「社会人アドバイザー」として臨床検査技師を選択した経緯や仕事の経験を伝え、高校生が臨床検査技師になるという将来を考える上でのアドバイスを行う。今年度は、より学生に近い世代もスタッフとして派遣予定である。

<ガン予防啓発事業>

【大腸がん予防啓発キャンペーン あっぴりレーマラソン 2024「STOP!大腸がん」(仮)】

開催日：令和6年9月（例年は第2週目の日曜日）

場 所：安比高原スキー場

参加予定岩臨技会員人数：20名

活動内容：

昨年度から通常開催となっていたが、岩臨技チームとしては参加を見合わせていた。今年度は岩臨技チームとして久しぶりの参加となるが、本企画を通してSTOP!大腸がんをスローガンに県民にガン予防啓発を行いたい。

なお、大会が開催されない場合には本事業は中止する。

<全国 検査と健康展>

【検査と健康展 in 盛岡地区】

開催日：令和6年11月中旬ごろ

場 所：矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町）

一般参加見込み数：150名

参加予定スタッフ数：約15名（内訳：岩臨技役員5名程度、盛岡地区技師会10名程度）

活動内容：

担当地区は昨年度に引き続き、盛岡地区で開催する。内容は昨年度から徐々に参加者との「ふれあい」を回復させてきているため、コロナ禍以前の開催形式に近い内容にしたいと考えている。「臨床検査技師」や「PCR検査」という名称を国民が忘れないように再認識していただけるように県民に対してさら

に広く周知できるようにしたい。また、昨今は予防医学の観点から健康維持に関心があると思われるため、そのような内容の企画を盛り込みたいと考えている。前述のとおり新型コロナ流行以前に戻るよう「医療従事者と参加者が触れ合える」内容でかつ、「感染対策には十分に留意」して開催する。

<生涯教育研修部>

- 1、生涯教育研修部では、会員が生涯教育研修制度を通じ知識や技術水準の維持向上を目指し、会員個人の生涯に渡る学習を組織的に援助することを目的として活動をする。
- 2、ホームページの情報更新等は出来るだけ速やかに対応していきたい。
- 3、2023年度も、新型コロナは終息に向かってはいるが、動向を見ながら現在の zoom ミーティングを用いた体制を続けながら、会員が参加しやすい方法を検討していきたい。
- 4、日臨技の事業の一つでもある、eラーニングには認定関連のプログラムも多く、生涯教育研修制度の広報と啓蒙を行っていきたい。

<精度管理部>

令和6年度（第30回）岩臨技精度管理調査
前年度と同様の企画で12月に実施予定

<書記・会報部>

1. 定期総会および理事会の議事録作成
2. 会報については、4・6・8・10・12・1月に発行する予定です。
会報の内容については、会議録や学会・研修会等の案内・「つなぐ」を掲載予定。
3. 会報は今年度もホームページに掲載予定。

<各地区・事業計画>

北部地区技師会

地区会員の意見を聴きながら、広い圏域の会員がなるべく多く参加できるよう、総会・研修会等を検討予定

- ・令和6年度 北部地区技師会総会
日時：未定
会場：未定
- ・令和6年度 北部地区技師会研修会
日時：未定
会場：未定
内容：未定

盛岡地区技師会

令和6年度は新型コロナウイルス感染症に関する社会情勢を考慮しつつ活動の幅を広げ、盛岡地区技師会会員に貢献できるような活動をしていきたい。また、より多くの県民に臨床検査技師を知って貰い、健康維持に興味を持っていただけるような内容を企画・運営していきたい。

令和6年度 盛岡地区技師会定期総会

日時：令和6年5月 予定
会場：未定

第76回 盛岡地区技師会研修会

日時：令和6年5～6月 予定
会場：未定
内容：未定

第77回 盛岡地区技師会研修会

日時：令和6年夏～秋 予定
会場：未定
内容：未定

検査と健康展 in やはぱーく（岩手県臨床衛生検査技師会、盛岡地区技師会共催）

日 時：令和 6 年 11 月 予定

会 場：矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町） 予定

内 容：臨床検査技師紹介の展示、健康啓発パネルの展示、リーフレット配布、POCT 用遺伝子増幅検査機器の展示、新型コロナウイルスの検査法についてご紹介、PPE 着用体験 等

第 78 回 盛岡地区技師会研修会

日 時：令和 6 年冬 予定

会 場：未定

内 容：未定

中部地区技師会

令和 6 年度 中部地区技師会総会

今年度は集合形式での通常総会と、2 回程度の研修会を開催予定としている。

令和 6 年度 中部地区技師会総会

日 時：未定

会 場：未定

令和 6 年度 第 1 回研修会

日 時：未定

会 場：未定

内 容：未定

令和 6 年度 第 2 回研修会

日 時：未定

会 場：未定

内 容：未定

南部地区技師会

通常総会および研修会の開催を予定とする。

多くの会員の皆様に参加していただけるようにオンライン研修会等、方法や内容を企画検討したい。

令和 6 年度 南部地区通常総会

日 時 未定

場 所 未定

令和 6 年度 南部地区技師研修会

日 時 未定

場 所 未定

三陸地区技師会

令和 6 年度の活動については、新型コロナウイルス感染症対策で活動様式も大きく変化した中、参加しやすい方法、内容で計画していきたいと思っております。

また、本年度は県学会担当地区であり、10 月 19 日開催も決定しています。例年より早めの開催ということで、すでに技師会役員、実行委員中心に動き始めているところです。今後、開催に向けた準備がさらに増えますので、皆様の協力を得ながら進めていきたいと思っております。ご協力、ご参加よろしくお願ひいたします。

総会：5 月ごろ予定

地区研修会：未定

医学検査学会：第 27 回岩手県医学検査学会 10 月 19 日（土）

第2号議案

2024年度収支予算(案)

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	10,000	11,500	△ 1,500	
入会金収入	10,000	11,500	△ 1,500	500円×20名
② 会費収入	4,580,000	4,740,000	△ 160,000	
正会員会費収入	3,920,000	4,060,000	△ 140,000	7,000円×560名
賛助会員会費収入	660,000	680,000	△ 20,000	20,000円×33社
③ 事業収入	600,000	330,000	270,000	
事業収入	600,000	330,000	270,000	精度管理事業参加費、県学会参加費、広告費
④ 補助金等収入	1,107,000	1,110,000	△ 3,000	
研修会費収入	7,000	10,000	△ 3,000	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,100,000	0	日臨技助成金、検査と健康展助成金
⑤ 雑収入	2,000,500	500	2,000,000	
受取利息収入	500	500	0	
雑収入	2,000,000	0	2,000,000	精度管理郵送費負担分、70周年記念事業特別予算
事業活動収入計	8,297,500	6,192,000	2,105,500	

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	5,950,000	3,950,000	2,000,000	
ア 啓蒙活動支出	700,000	700,000	0	
給与手当支出	100,000	100,000	0	スタッフ日当

	報償費支出	100,000	100,000	0	スタッフ弁当
	旅費交通費支出	110,000	110,000	0	スタッフ交通費
	通信運搬費支出	10,000	10,000	0	発送費、切手代
	消耗品費支出	220,000	120,000	100,000	ボールペン、マウス スペース等
	印刷製本費支出	10,000	10,000	0	検査と健康展チ ラシ印刷
	賃借料支出	100,000	100,000	0	会場費、トランク ルーム
	諸謝金支出	0	100,000	△ 100,000	医師謝礼(2名)
	雑支出	50,000	50,000	0	安比リレーマラソ ンエントリー費 健康展備品
イ	学会活動支出	2,100,000	1,100,000	1,000,000	
	給与手当支出	100,000	20,000	80,000	
	報償費支出	100,000	70,000	30,000	
	旅費交通費支出	100,000	80,000	20,000	
	通信運搬費支出	90,000	10,000	80,000	
	消耗品費支出	100,000	10,000	90,000	
	印刷製本費支出	105,000	300,000	△ 195,000	
	賃借料支出	205,600	180,000	25,600	
	諸謝金支出	250,000	100,000	150,000	
	雑支出	49,400	30,000	19,400	
	委託費	1,000,000	300,000	700,000	70周年記念式典 費用
ウ	研修会活動支出	900,000	900,000	0	
	給与手当支出	120,000	120,000	0	スタッフ日当
	報償費支出	80,000	80,000	0	講師飲料代等
	旅費交通費支出	150,000	150,000	0	講師交通費、宿 泊費
	通信運搬費支出	95,000	95,000	0	発送費、切手代
	消耗品費支出	30,000	30,000	0	
	印刷製本費支出	10,000	10,000	0	資料作製費
	賃借料支出	110,000	110,000	0	会場費
	諸謝金支出	300,000	300,000	0	講師謝礼
	雑支出	5,000	5,000	0	
エ	会報事業支出	1,500,000	500,000	1,000,000	
	通信運搬費支出	300,000	135,000	165,000	発送費、切手代
	消耗品費支出	50,000	5,000	45,000	
	印刷製本費支出	1,000,000	350,000	650,000	印刷費、70周年 記念誌予算
	諸謝金出	100,000	0	100,000	
	雑支出	50,000	10,000	40,000	

オ 精度管理事業支出	750,000	750,000	0	
通信運搬費支出	70,000	70,000	0	切手代等
消耗品費支出	500,000	500,000	0	試料費、器材費
委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム 使用費
諸謝金出	50,000	0	50,000	
雑支出	20,000	70,000	△ 50,000	手数料等

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
②管理費支出	2,347,500	2,242,000	105,500	
役員報酬支出	80,000	80,000	0	理事日当(@ 1000円)
給料手当支出	547,000	150,000	397,000	手当
報償費支出	100,000	100,000	0	総会経費、監査 経費
会議費支出	0	20,000	△ 20,000	会場費
旅費交通費支出	250,000	250,000	0	理事会交通費、 日臨技交通費
通信運搬費支出	600,000	800,000	△ 200,000	電話、インターネ ット、サイボウズ Office
消耗品費支出	10,000	10,000	0	封筒、コピー用紙 等
印刷製本費支出	100,000	300,000	△ 200,000	コピー機使用料、 コピー機使用料
賃借料支出	200,000	350,000	△ 150,000	トランクルーム、コ ピー機リース、パ ソコンリース
諸謝金支出	10,000	10,000	0	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	300,000	30,000	270,000	レンタルサーバ ー使用料、HP 保 守料
慶弔費	10,000	10,000	0	祝電
雑支出	68,500	60,000	8,500	広告費、振込手 数料
事業活動支出計	8,297,500	6,192,000	2,105,500	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0		
投資活動収入計		0		
2. 投資活動支出		0		
投資活動支出計		0		

投資活動収支差額		0	
II 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入		0	
財務活動収入計		0	
2. 財務活動支出		0	
財務活動支出計		0	
財務活動収支差額		0	
II 予備費収支の部			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額			
次期繰越収支差額	0	0	